

園児が漫才に挑戦 笑いで富士宮を元気に

富士宮高校会議所はこのほど、吉本興業の芸人を講師に迎えての地域活性化イベント「笑いで富士宮を元気に！」を西町の西ヶ丘幼稚園で実施した。保育部の2〜5歳児約40人が参加し、「ポケとツッコミ」のコンビ漫才に挑戦した。

SDGsの一つ「全てのの人に健康と福祉を」の達成を目指すために続けているイベント。講師は国際漫才コンビ「フランポネ」(マヌー島岡さん、シラちゃん)が務め、この日はとがみえん・とがみえん北児童クラブとA.C.C.国際交流学園も回り、幼児から学生までの幅広い世代に笑いを届けた。



笑いを誘う漫才を取り上げ、実演も交えてネタのつくり方を説明。

「ポケは変な人、ツッコミはちゃんとしている真面目な人」「野菜

と安い、祖母とそばざるとサルなど、言い間違いを探してネタにしてほしい」などとアドバイスした。

園児は2人1組に参考を付けて芸名を付けた上で、ネタを考えた。発表では「どーもー」で始まる自己紹介とともに、楽しいやり取りを繰り返して仲間を沸かせていた。

西ヶ丘幼稚園では、フランポネの2人が似ている言葉の間違えてお笑い芸人のアドバイスで自分たちがつくったネタを発表